

平和が一番 だから9条!

3000万人署名で 憲法改悪ストップ

2018年は平和な年に! 多くの方々の願いです。

戦後、日本は「2度と戦争しない」という道を選びました。憲法9条は、対話による紛争解決の道を示し、「戦力をもたない」と決めました。その徹底した平和主義は、世界の宝です。

ところが、安倍首相は憲法9条を壊そうとしています。平和を守り、9条を子や孫たちの未来につなぐために、「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)を集めています。「戦争はイヤ」というあなたの思いをお寄せください。



9条に「自衛隊」を書きこめば、どうなるの?

安倍首相(自民党総裁)の改憲案は、「9条に『自衛隊』を書き加える」というものです。どうなるでしょうか。「後からつくった法律は、前の法律に優先する」ことが法律の一般原則です。「自衛隊」を明記した条項が後からできれば、「戦力をもたない」と決めた9条2項は空文化されます。海外の武力行使を制限していた9条2項の歯止めがなくなり「戦争する国」にまっしぐら。軍事費はどんどん増やされ、福祉や教育は削られ、産業も研究・教育も軍事優先、人権の制限も…。そんな9条破壊は許されません。

武力で平和はつukれない 北朝鮮問題は対話で解決

「北朝鮮の核・ミサイル開発」、本当に許されません。朝鮮半島で戦争を起こさないために、どうすればよいでしょうか。武力の行使は、報復攻撃による甚大な被害を生み、核戦争の危機に発展するおそれすらあります。国連事務総長も「いかなる軍事行動も壊滅的結果を招く」として、対話をつよ呼びかけています。「対話は意味がない」と軍事的圧力強化を認める安倍首相の対応は、世界から孤立し、事態を深刻化するものです。対話による平和外交こそ解決の道です。

9条を生かすことが日本を守る道です。

日本政府は、核兵器禁止条約に調印を

「核兵器禁止条約」は、2018年の発効にむけて動いていません。非人道的な核兵器を歴史上はじめて違法化し、全面禁止した「核兵器禁止条約」は、被爆者の願いの結晶であり、憲法9条の具体化です。この条約を生み出した力は、ノーベル平和賞を受賞した「ICAN」をはじめとした平和を求める世界の世論と運動です。被爆国なのに、この条約への参加を否定する日本政府に、世界から批判の声があがっています。「核兵器禁止条約」への参加を日本政府に求めましょう。